

みかんのひみつ



鈴木伸一／監修
岩間史朗／写真撮影
ひさかたチャイルド
625

ていがくねんむ
低学年向け

冬はみかんがおいしい季節ですね。身近なくだもの「みかん」について、きれいな写真とともにくわしく紹介。みかんのなかみをばらばらにしてかんさつしたり、実のそだちかた、みかんのなかまたちについてなど、みかんについてくわしく知ることができます。みかんのおいしい冬の季節におすすめの一冊です。

12か月の行事えほん

いけずみひろこ／作・絵
PHP研究所
386



冬のある日、まんぷく山に引越してきたほん太くんたち、ためき田一家。「それはそれは、たのしい一年がまっているからう」という近所のおじいさんの言葉どおり、まんぷく山は四季折々の楽しい行事が目白押し！ほん太くんたちの暮らしを通して、季節感を大切に、家族や仲間、人とのつながりを大切にしてきた日本の伝統的な暮らしを学ぶこともできます。巻末にはそれぞれの行事の由来も紹介されています。

のんきなりゅう



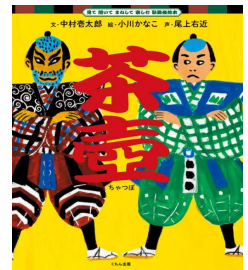
ケネス・グレアム／作
インガ・ムーア／絵
中川千尋／訳
徳間書店
933/グケ

ちゅうがくねんむ
中学年向け

詩が好きな、こころのやさしいりゅうと、本が大好きな男の子の友情ものがたりです。りゅうにであったとき、男の子がりゅうを恐れなかったのは、たくさんの本をよんで、りゅうや怪物にくわしかったからです。男の子は、りゅうを退治してきた騎士・聖ジョージに、りゅうと戦わないように、話をつけにいけます。話し合うことの大切さも知ることのできる心あたたまるお話です。オールカラーの美しい挿絵も素晴らしいおすすめの一冊です。

茶壺

中村喜太郎／文
小川かなこ／絵
くもん出版
E/チ



歌舞伎の演目「茶壺」のお話です。ある日、目代さん(現代の警察官)は道端で居眠りしているふたりの男を見つけてみます。ふたりの傍らには茶壺がひとつ。起きたふたりはどちらも茶壺は自分のものだと主張します。果たしてほんとうのことを言っているのはどちらなのでしょう。歌舞伎役者・尾上右近さんによる朗読データをダウンロードして聞くこともできます。

絵物語 古事記



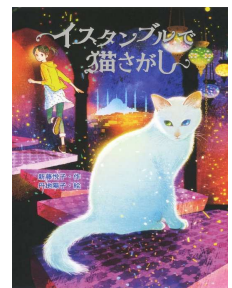
富安陽子／文
山村浩二／絵
三浦佑之／監修
借成社
913/ト3

こうがくねんむ
高学年向け

『古事記』は、現存する日本最古の書物といわれ、国のはじまりにまつわる神話や、黄泉の国、八つの頭を持つオロチの話など、不思議なお話がたくさんおさめられています。この本は、そんな古代から語り継がれた日本の神話が生き生きとした文章と挿絵で楽しめる一冊です。新しい年のはじまりに、日本古来の個性的な神さまたちのお話はいかがですか？

イスタンプで猫さがし

新藤悦子／作
丹地陽子／絵
ポプラ社
913/シエ



単身赴任中のお父さんを追ってトルコにやってきた小学校5年生の愛。左右の瞳の色が違うというトルコの「ワン猫」に会ってみたいと秘かに願っていました。ある日、通っている日本人学校の階段の裏でメモ書きを見つけた愛。メモに書かれた「ワン猫を見せてあげる」という言葉に導かれ、クラスメイトと一緒にメモの主を探し出すことを決意します。迷宮のような街を舞台に猫探しの冒険が始まります。